

(質問の内容が類似するものについてはまとめています)

(1)福祉総合相談窓口(仮称)の設置について

番号	ご意見	区の考え方
1	LINEによる相談の入口を用意することは、区役所に来ること、相談することに勇気が必要な方には適していると思う。 京都市では、子ども宅食の一貫でLINEによる相談支援により経済的に厳しい家庭へのデジタルソーシャルワークを行っている。	LINEは全年代で利用率が高く、相談時に場所と時間の制約がかからないことから、相談のきっかけとして優れたツールであると考えます。しかし、セキュリティ面や対応する職員のスキルなど、導入に向けた課題も散見されるため、引き続き対応を検討してまいります。
2	福祉総合相談窓口配置する職員について、専門性の高い職員の配置が難しくなった際、いかに次の職員にノウハウを継承するのか、AIの活用も含めてあらかじめ構築体制を検討していくと良いと思う。	職員用マニュアルの作成やOJTと研修の実施を通し、職員の資質向上、対応の統一化に努めてまいります。
3	来年4月に福祉総合相談窓口ができることを、とても嬉しく思う。課題はあると思うが、一人でも多くの困難を抱えた方が救われることを願っている。区役所の地下、京橋図書館跡地に開設されるとのことで、相談者もアクセスしやすいのではないか。	様々な困り事、相談先のわからない悩みを抱えた区民が、気軽に相談できる窓口として機能するよう、開設準備に取り組んでまいります。

(2)中学・高校生向け地域福祉ワークショップ「ボードゲームから考える！これからのまちづくり」の実施について

番号	ご意見	区の考え方
1	今後も継続して行うのであれば、例えば自宅から100キロ以上、神奈川・千葉・埼玉等の大学に通学している学生に対し通学交通費支援を行い、その支援を受ける条件として本ワークショップへに参加することとして、若い世代に毎年中央区について考えてもらうような仕組みをつくることも、考えられるのではないかと。	ご意見を参考に、実施体制を検討してまいります。
2	委員の意見にもあったように、中学・高校生には「地域福祉」の理解が難しかったようである。広報や周知方法に、更なる工夫が必要なのかもしれない。	地域福祉が何か、自然と理解できるような地域づくりに向け、社会福祉協議会と共に検討してまいります。
3	学校に対し参加を働きかけてはどうでしょうか。委員長も指摘していたように、参加に対するメリットが明確だとよかったのかもしれない。	開催にあたり、区立中学校の生徒にチラシを配布し参加を呼びかけました。参加のメリットや開催時期も含め、今後の実施体制を検討してまいります。

(3)令和5年度 地域カルテの更新について

番号	ご意見	区の考え方
1	民生・児童委員をはじめ、町会・自治会長にも配布しており、周知は十分できていると思う。	ホームページへの掲載等も含め、引き続き周知してまいります。
2	自分が生活する地域が、どのような状態なのか知ることができ、とても良い資料だと思う。	中央区の現状を把握し、新たな社会資源の開発につながるような地域カルテの作成に努めてまいります。

(4)その他

番号	ご意見	区の考え方
1	民生・児童委員として、地域で困りごとを抱えている方、個人的に相談を受けた方については、引き続き各部署へとつないでいきたいと思う。	事務局として、今後も民生・児童委員の皆様の活動支援に努めてまいります。
2	夏休みに、両親が働いている、シングルマザー・シングルファザーの子どもたちに向けて、昼食を提供する場所や機会を考えて見たらどうか。	今後の事業実施の参考にさせていただきます。